



MX-23 フラックスボッ クス取扱説明書

目次

1. はじめに	1
2. MX-Fluxboxの初期設定	3
2.1 デスクトップのアイコン	4
2.2 コンキー	5
2.3 ティント2パネル	5
2.4 ドック	7
2.5 ルートメニュー	7
3. フラックスボックス詳細	9
3.1 スタイル	9
3.2 テーマ	9
3.3 壁紙	10
3.4 ショートカットキー	10
3.5 メニュー	10
3.6 設定ファイル	12
3.7 オーバーレイファイル	12
3.8 ウィンドウの設定とコントロール	12
3.9 ターミナル	13

3.10 スクリーンオプション	13
4. 伝統的なフラックスボックス	14
5. FAQ-ファインダー	16
6. リンク	18

1. はじめに

このヘルプは**ユーザーマニュアル (Shift+F1)** を補足するもので、インストール、設定、ソフトウェア管理など、MX Linuxの一般的なトピックをカバーしています。初めてお使いになる方は、旧バージョンの概要をご覧ください：



[MX-Fluxbox: 最新情報](#)

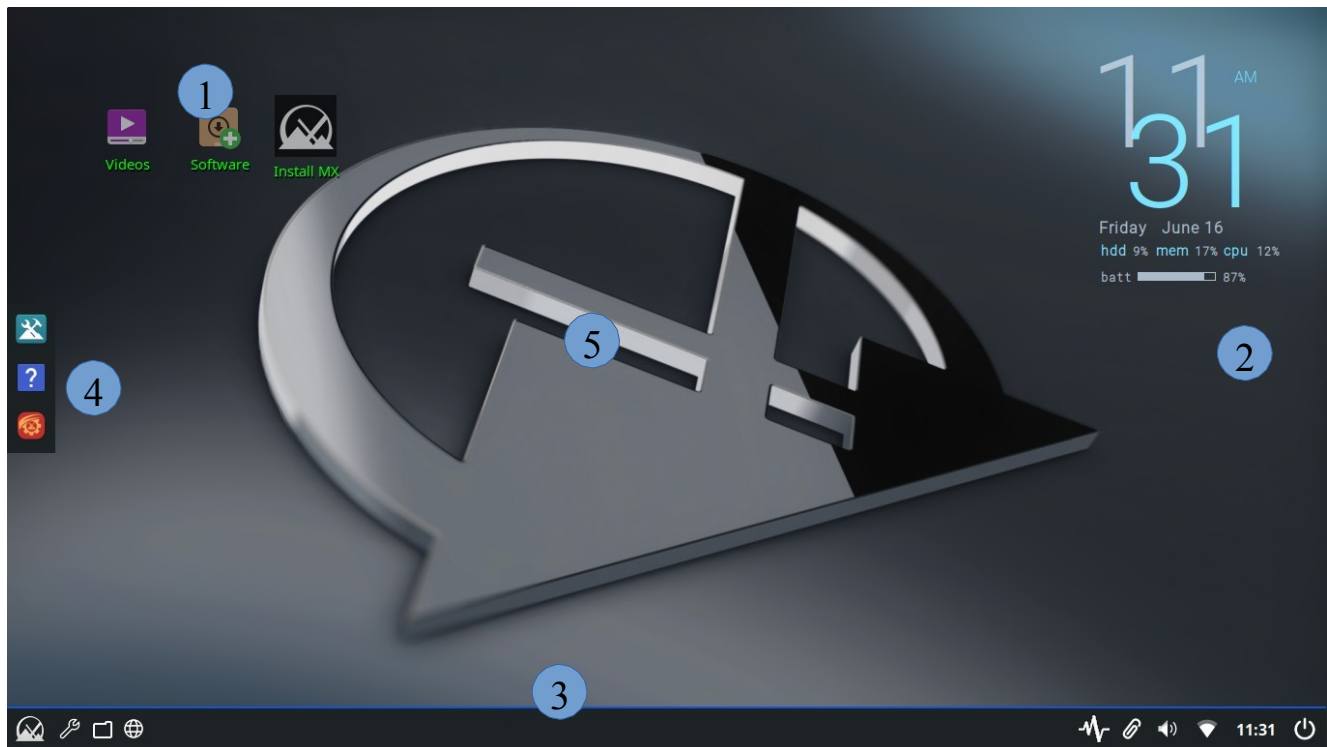
MX Fluxbox (=MXFB)は、MX Linuxの最小または "ベース "バージョンです。設計上、他のMX-Linuxバージョンに自動的に含まれるすべてのソフトウェアは含まれていません。しかし、デスクトップのアイコン "Software "をクリックすることで、MXパッケージインストーラーを使用して、追加ソフトウェアを簡単にインストールできます。そこで、オフィススイート（LibreOffice）や洗練されたグラフィックエディター（Gimp）など、多数のアプリケーションを見つけてインストールすることができます。

その名が示すように、MXFBはウィンドウの配置と外観を制御する[ウィンドウ・マネージャーとしてFluxbox](#)を採用している。その小さなメモリフットプリントと素早いロード時間は、低リソースのシステムで非常に効果的であり、高レベルのマシンでは非常に高速である。

MXFBは2つの基本的なコンフィギュレーションで動作させることができ、その間に多くのバリエーションが考えられる：

- **デフォルトでは**、基本的なFluxboxコンポーネントを含むが、便利なグラフィカルアプリを使用するMX Linuxの好みに従う。
- FLUXBOXは、デフォルトのコンフィギュレーションから様々なコンポーネントをクリック2つで追加できる。

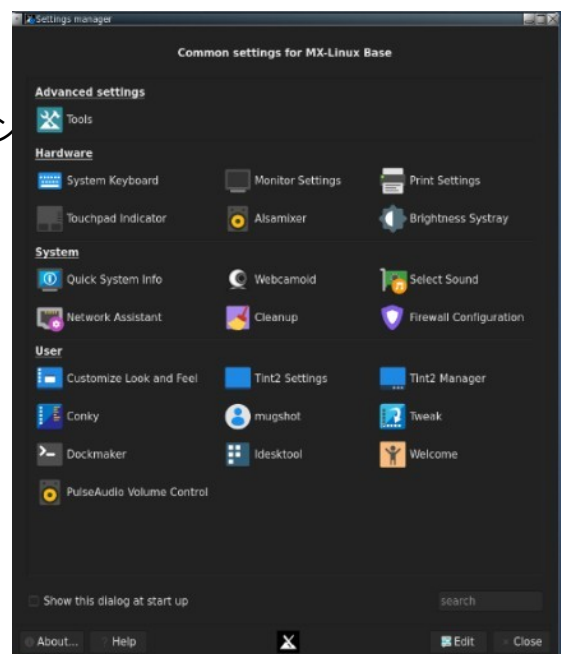
2. MX-Fluxboxのデフォルト設定



左上から時計回りに、主なコンポーネントを紹介しよう：

- 1 デスクトップアイコン（セクション2.1）
- 2 コンキー」と呼ばれるシステム情報ディスプレイ（セクション2.2）
- 3 tint2パネル（セクション2.3）
- 4 ネイティブ・ドック（2.4節）
- 5 隠されたFluxboxの「ルートメニュー」（セクション2.5）

ドック（中央の赤いアイコン）、パネル（レンチのアイコン）、またはルートメニューから利用できます。



デスクトップアイコンやドックアイテムに加え、以下のツールでもアプリケーションを起動できる:

- パネルのスタート (MXロゴ) ボタンをクリックし、Appfinderというメニューを開きます。
- デスクトップを右クリックして、ルートメニューを表示します。
- デスクトップを右クリックする: メニュー > すべてのアプリでDebianのようなカテゴリメニューが表示されます。
- キーボードのロゴキー (WindowsまたはAppleのアイコン) をクリックすると、便利なプロパティを含むアプリ一覧が表示されます。
- Ctrl+F2をクリックすると、実際のプログラム名を入力する小さな実行ウィンドウが表示されます。

以下のセクションでは、各主要コンポーネントの使用方法和管理方法について、基本的な理解を深めていただくことを目的としています。

注意事項

- 1) チルダ記号「~」は、ユーザーのホームフォルダー (例: /home/demo) へのショートカットです。
- 2) メニュー」とは、デスクトップ上で右クリックすると表示されるルートメニューのことです。

2.1 デスクトップのアイコン

隠すメニュー > 非表示 > アイコンの切り替え

Remove (icon): アイコンを中クリックするとiDesktoolが起動します。

停止: メニュー > Out of sight > Toggle iDesk 管

理: メニュー > 外観 > デスクトップアイコン

ヘルプ: [Wiki内](#)



[MX-Fluxbox: パワーツール](#)

デスクトップアイコンは、MX Linuxの開発者とユーザーが**iDesktool**を作成するために適応、近代化、拡張した古いツールであるiDeskによってMXFBで有効になっています: メニュー > 外観 > デスクトップアイコン。

このツールは、MX-Fluxboxでのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。非常にわかりやすいので、使用上の疑問はほとんど生じないはずです。

デフォルトの "Videos "アイコンを例に、デスクトップアイコン（~/iDesktoprcに設定）の基本的なマウス操作を示します：

アクション	マウス	例
実行する	左シングルクリック	MXFBのYouTubeチャンネルを開設
altを実行する	右シングルクリック	アクションメニューを開く
管理	中央（スクロールボタン）シングルクリック	アイコンにフォーカスしたiDesktoolを開く
ドラッグ	左クリックでホールド、離すとストップ	

2.2 コンキー

隠す: メニュー > Out of sight > Toggle conky

Remove (conky): Menu > Appearance > Conky

Stop: Menu > Out of sight > Toggle conky

Manage: メニュー > 外観 > コンキー

ヘルプ: ウィキで: MXコンキー、コンキー・マネージャー

コンキーは、大きなカスタマイズの可能性を持つデスクトップのシステムディスプレイです。MX-Fluxboxユーザーは、メニュー > アピアランス > コンキーをクリックして**コンキーマネージャー**を表示することで、MX Linux用の大規模なコンキーセットを利用できます。Conky Managerは基本的な管理の便利な方法ですが、ツールの**MX Conky**は色の操作などMX Linux独自の高度な機能を提供します。

コンキーマネージャーでは、以下の簡単な手順でコンキーを編集、表示、表示することができます:

- それぞれのコンキーをハイライトし、必要であればプレビューを押して、どのように見えるかを確認する。別のプレビューに移る前に、必ずそれぞれのプレビューを閉じてください。

- 設定アイコン（歯車）をクリックして、場所などの基本プロパティを変更します。

- 使用するコンキーをチェックボックスで選択します。自動インストールされます。

- 設定ファイルは `~/.conky/` フォルダに個別のテーマファイルとして格納されています。わかりにくいですが、一覧でコンキーをハイライトして編集アイコン（鉛筆）をクリックすることで編集できます。

より複雑なコンキの場合は、コンポジターを使用する必要があるかもしれません。メニュー > 設定 > コンフィグ > スタートアップをクリックし、コンポジターに関する行のコメントを解除して、以下のようにします: *compton & Compositor*

2.3 tint2パネル

隠すメニュー > *Out of sight* (視界の外) > *Toggle autohide panel* (パネルの自動非表示を切り替える)

削除する: 手動: `~/.config/tint2/` から設定ファイルを削除する。

停止: 手動: "`startup`" ファイルの行の前にコメント (`#`) を入れる。

管理する設定マネージャー > *Tint2* マネージャー
ヘルプ

オリジナルのFluxboxツールバーは、今日のユーザーが期待する機能やデザインとは大きく異なります。そのため、MX-Fluxbox 2.2から、"**tint2**"として知られる高度に設定可能なアプリを使用して、代替ツールバーが追加されました。(2つのツールバーを切り替えることができます: メニュー > 外観 > ツールバー > *Fluxbox/Traditional*)

警告

全く新しいパネルを作成する場合（MXのデフォルトの1つで開始しない）、一部の fluxbox バージョンでエラーが発生することがあります。パネルの幅を100%に設定すると、パネルの位置がずれます（例えば、画面下部の上に浮きます）。さらに、tint2 パネルが配置されるはずの場所にスペースが確保されるため、tint2の位置がずれると、最大化されたアプリが画面いっぱいに表示されないように見えます。

解決策は2つある：

- 幅を99%に設定すれば、パネルはあるべき場所に戻る。
- パネルの幅を "100%" に設定し、1ピクセルの水平マージンを追加する。

パネルを変更するには、スタートボタン横のレンチアイコン、ドックの歯車アイコン、またはメニューのリストをクリックします。設定マネージャが起動し、"**Tint2 マネージャ**" をクリックします。

画面が開き、`~/config/tint2/` の場所にあるすべての tint2 設定が表示されます。MXFB は、非常に異なる設定のセットを提供するので、試すことができます。

既存のコンフィギュレーションを選択するだけでなく、パネルの要素を変更することもできます。Config "ボタンをクリックするとグラフィカルなエディターが表示され、"Edit "ボタンをクリックすると設定ファイルを直接編集することができます。

グラフィカル・エディターには2つのアプリケーションがあります：

- "Themes " は、ユーザーの場所にあるすべての tint2 設定と、インストール中に持ち込まれた他のいくつかの設定を表示します。
- "Properties " は実行中のコンフィグの機能を表示します。プロパティウィンドウが表示されていない場合は、左上の小さな歯車のアイコンをクリックしてください。

ここでは、グラフィカル・エディターを使って、"Properties " ウィンドウの一般的なアクションをいくつか紹介します：

- ランチャーの追加と削除 左側の "Launcher " エントリーをクリックします。右側のパネルには2つの列があり、左側には現在ツールバーに表示されているアプリケーション

ンアイコンのリスト、右側にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストが表示されます。矢印を使用して、項目を上下に移動します

。

- **追加:** 右カラムのリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックしてから「適用」ボタンをクリックすると、即座にツールバーに追加されます。
- **取り外し:** 逆の手順で行う。
- パネルの移動とサイズ変更左パネルで "Panel "エントリーをクリックし、右パネルで配置とサイズを選択します。適用」ボタンをクリックします。ここでスクロールダウンし、必要であれば "Autohide "ボックスにチェックを入れることもできます。
- 時間/日付フォーマットに変更する。左パネルの "Clock "エントリーをクリックし、"First line format "または "Second line format "フィールドを好きなものに変更する。例えば、24時間表示するには、"%I "を"%H "に変更します。ウィキのコード

注: 設定を変更する前に、現在の設定をバックアップしてください: `~/.config/tint2/tint2rc`をクリックし、"tint2rc_BAK "などの新しい名前で保存してください。その後、バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しいtint2rc設定の適切な場所にコピーできます。

2.4 ドック

隠すメニュー > *Out of sight* > *Toggle autohide dock*: メニュー > *Out of sight* > *Toggle autohide dock*: メニュー > *Out of sight* > *Toggle autohide dock*

削除/追加 (ドックアイテム) : メニュー > 外観 > ドックメ

ーカー 停止 (デフォルトドック) : *Menu* > *Out of sight* >

Disable Default dock 管理する: メニュー > 外観 > ドックメ

ーカー

ヘルプ



MX-Fluxbox: パワーツール

MXFBにはDockmakerというネイティブアプリがあり、ユーザーが簡単にドックを作成、変更、管理することができます。ユーザーが初めてログインすると、デスクトップの左側に小さなドックが表示され、その設定は`~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk`で設定されます。

このデフォルトのドックには、以下の項目が含まれている (左から右へ) :

- MXツールズ
- ヘルプ (本マニュアル)
- 設定マネージャー

注: Tint2をドックとして使用することもできます。

2.5 ルートメニュー

ルートメニューはデフォルトで非表示になっており、多くの機能や設定に素早く簡単にアク

セスできます。

表示: デスクトップ上で右クリック

削除/追加 (メニュー項目): メニュー > 設定 > 構成 > メニュー

停止: *init* ファイルの *session.menuFile* で始まる行の前にコメント (#) を入れる:

管理するメニュー > 設定 > 構成 > メニュー

ヘルプ セクション3.5とリンク

この短くて静的なメニュー (`~/.fluxbox/menu-mx`) は、いくつかの例外を除いて、よく使う項目を含むように設計されています。このメニューには、`~/.fluxbox/submenus`にある3つのサブメニュー (Appearance、Settings、Out of sight) が組み込まれています。

ルートメニューは3つのセクションに分かれている：

- トップ
 - すべてのアプリ：Debian のようなカテゴリメニューです。パッケージインストーラーを使うと自動的にアップデートされます。自動更新を停止するには "Disable" をクリックしてください。
 - 最近使用したファイル：最近使用したファイルが表示されます。
- ミドルセクション：よく使うアプリを直接開くためのリンクと、「Extras」と呼ばれる新しい項目。
- ボトム
 - 外観
 - コンキー
 - ドック
 - デスクトップアイコン
 - フォント
 - モニター：小型システムモニター (*gkrellmI*)
 - テーマ（現在はMX Tweakの一部）：ウィンドウの処理、アイコン、カーソル
 - ツールバー
 - 壁紙：回転、ワークスペースごとに分離、選択
 - 設定
 - バックアップ
 - configure: メニュー、スタートアップなどのFluxboxファイル。
 - 表示：表示パラメーターの変更、保存方法のヘルプ
 - キーボード：11の言語のいずれかに素早く変更でき、変更も簡単（ルートメニュー > 設定 > 構成 > 設定）
 - アウト・オブ・サイト：要素を隠す便利なコマンド集
 - 出て行け：
 - refresh: 設定ファイルを変更した後、fluxboxを再起動するために使用します。
 - サスペンド
 - ログアウト
 - 再起動
 - シャットダウン

新しいユーザーは、そのメニューの内容、パワー、スピード、柔軟性を理解するために、そのメニューを使いこなすのがよいだろう。特に魅力的なのは、これらのメニューが読みやすく、完全にユーザーのコントロール下にあることだ。

3. フラックスボックス詳細

3.1 スタイル

伝統的に、Fluxboxにおける「スタイル」という言葉は、ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾方法を指示する簡単なテキストファイルを指します。MXFBにはこのようなスタイルが多数同梱されており、その場所は

/メニュー > 外観 > テーマで選択できます。このほかにも、"fluxbox styles"でウェブ検索すると多くのスタイルが見つかります。

広い意味でのスタイルは、テーマ、装飾、アイコン、カーソルの組み合わせと考えることができる。好みのスタイルを設定するためのツールはたくさんあります。

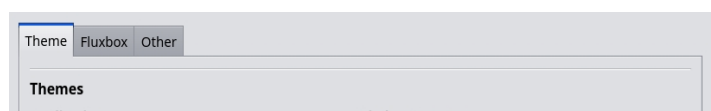
- **MX Tweak** > Stylesタブでは、これらの要素を簡単にテストして選択し、独自の特定のテーマに組み合わせることができます。これは**MXFB Look**にリンクしており、選択したものを特定のグラフィック機能のコレクション ("ルック") として指定し、保存することができます。
- **MX Comfort** ツールを使用すると、デフォルトのMX-comfort fluxboxスタイルの色を編集し、変更を新しいスタイルとして保存できます。既存のfluxboxスタイルを手動で編集したい場合は、スタイルを ~/.fluxbox/styles にコピーし、名前を変更して変更してください（下記のリンクのUbuntuスタイルガイドを参照してください）。
- **Exit Options Manager**では、アイコンやレイアウトを自由に設定することができます。
- **Rofi Manager**は、検証済みのrofiコンフィギュレーションのセットと、それを変更するためのツールやヘルプを提供します。

伝統的なスタイルは壁紙を含めることができますが、MX-Fluxboxではデフォルトでメニュー > 設定 > 設定 > オーバーレイのトップラインでブロックされています。スタイルで背景を決められるようにするには、線の前にハッシュマークを付けて、次のようにします：

! 以下の行は、スタイルが背景を設定しないようにする。

#background: none

3.2 テーマ



MX-FluxboxのデフォルトテーマはMX-Comfortです。このテーマは、ルートメニュー>外観>テーマ、または設定マネージャー>テーマで変更できます。

3.3 壁紙

まず、オーバーレイファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認します。メニュー>外観>壁紙>選択」または「設定マネージャー>背景」をクリックすると、利用可能な選択肢が表示される**Nitrogen**が起動します。デフォルトでは、ユーザー背景（`~/fluxbox/backgrounds`）とシステム背景（`/usr/share/backgrounds`）が選択できます。この設定により、ユーザーフォルダに背景を追加し、メニューから選択できるようになります。

"Preferences"をクリックすると、**Nitrogen**に他のソースを追加できます。

fehbgを使用する伝統的な方法があり、ルートメニュー>設定>スタートアップで "fehbg"を検索し、窒素の使用から切り替えることで有効にすることができます。

3.4 ショートカットキー

Fluxboxでは、ユーザーがキーの組み合わせをショートカットとして設定することができます。設定は

`./fluxbox/keys`は、Menu>Settings>Configure>Keysで編集できます。Conky Managerで "MX-FluxKeys" コンキーを選択すると、便利な概要が表示されます。

いくつかのキーに使われている名前は少し曖昧だ：

- Mod1 = Alt
- Mod4 = ロゴキー（Windows、Apple）

MX-Fluxboxには専用のファンクションキーの組み合わせがあります：

- Ctrl+F1: MX-Fluxbox ドキュメント
- ターミナル入力を必要とするコマンドを入力する場合は、Ctrl+Enterを使用する。
- Ctrl+F3: ファイルマネージャー
- Ctrl+F4: ドロップダウン・ターミナル
- Ctrl+F5: MXツール

ファンクションキーは、アプリによる使用との衝突を避けるため、修飾子「Ctrl」でプログラムされている。

3.5 メニュー

メインメニュー（パネル上のMXアイコン）

メインメニューはAppfinderと呼ばれ、特別なrofiテーマ（下記参照）を使用しています。内容は`/usr/share/applications`から自動的に取得されます。メニューの左側にあるクエスチョンマークをクリックして**設定**アプリを開くと、フォーマットを変更できます。

ルートメニュー

ルートメニューの要素を変更、追加、再配置することができます。ルートメニューのサブセクションは、別のアクティブメニューとしてドラッグすることができます。（タイトルバーを左クリックしたまま）

Menu > Settings > Configure > Menusで編集したいメニューファイルを開きます。

（メインメニューとサブメニューの「外観」、「設定」、「視界外」はすべて別のファイルです）。

構文は以下の通り: [category] (name) {command} - 括弧、括弧、中括弧を正しく使用してください。

例1: DeaDBeeFの代わりにClementineを開くように "Music "を変更する。

- Music という単語がある行を探す (必要なら Ctrl+F を使う) [exec] (Music) {deadbeef}.
- コマンド部分の "deadbeef" という単語をダブルクリックして強調表示させ、 "clementine "と入力して保存すると、このような結果になる:

[exec] (音楽) {クレメンタイン}

- メニュー > 「Leave」 > 「Refresh」 の順にクリッ

クして、新しい設定を使用します。 例2: Skypeをメニ

ューに追加する

- この例では、Common appsセクションに新しいカテゴリー「Communicate」を追加し、そこに入力するとします。
- サブメニューコマンド (下記参照) を使ってカテゴリーを作成し、新しい行を導入して、次のパターンに従う: [exec] (メニューエントリ) {command}。
- 結果は次のようになる: [サブメニ

ュー] (コミュニケーション)

[exec] (Skype) {skypeforlinux}。

[終了]。

- メニュー > 離脱 > リフレッシュ

注: 2つ目の例が示すように、使用すべきコマンドが必ずしも明白であるとは限らない。

すべてのアプリ

このルートメニューの一番上のエントリーは、アプリのデスクトップファイルに記載されているカテゴリーラベルを使用します（このカテゴリーラベルは

/usr/share/applications）を使用してその構造を設定します。デフォルトでは、更新プログラムが実行されるたびに、その中に含まれるアイテムが更新されます。この動作は、MX Tweak > Fluxboxのチェックボックスをオンにすることで変更できます。

> 既存のメニュー項目を更新し、その後、一番下のメニュー項目 "更新 "を使用することができます。

このメニューが自動的に更新されないようにするには：MX Tweak > Otherタブを開き、

"Automatic update of Fluxbox Applications menu after package install, removal and updates "エントリーのチェックを外します。

ロフィ

このアプリランチャーは、キーボードのロゴ／「Windows」キーを押すことでアクセスできます。アルファベット順に構成されていますが、よく使うアプリが一番上に含まれています。詳しくは[こちら](#)

3.6 設定ファイル

基本的な設定はすべて、わかりやすい形式の[テキストファイル](#)で制御されます。設定ファイルの編集を始める前に、現在の設定をバックアップしてください。ファイルマネージャーThunarで設定ファイルをクリックして開き、ファイル > 名前を付けて保存でファイル名を変更してください（例: "filename_BAK"）。万が一うまくいかない場合は、いつでも以前の設定に戻すことができます。

これらの設定ファイルを編集する際、該当する行をコメントアウト（行頭にハッシュタグ#を追加）するだけで、個々の設定が適用されないようにすることができます。

例えば設定A: この行はFluxboxに読まれる # 設定B
: しかしこの行は読まれない

3.7 オーバーレイファイル

FLUXBOXでは、オーバーレイファイルを介して、システムフォント、xxx,xxxなどの設定をグローバルにオーバーライドすることができます。これらのオーバーライド設定は
~/.fluxbox/overlay ファイルに保存され、Menu > Settings > Configure > Overlay から編集できます。

オーバーレイ・ファイルで定義された要素設定は、フラックスボックス・セットアップの他の場所で定義された設定を上書きします。たとえば、オーバーレイ・ファイル内のフォント設定は、現在のフラックスボックス・スタイルで定義されているフォント設定を上書きします。

テーマセレクターを使用して、テーマやスタイルで使用するフォントを調整できます。MX-FluxboxのデフォルトはSans 11です。より詳細なコントロールは、Root Menu > Appearance > Fontを使用するか、Appfinderで "font "と入力することで可能です。

3.8 ウィンドウの設定とコントロール

様々なキーとマウスの組み合わせでウィンドウの移動や調整が可能

- サイズを変更する: 変更したいコーナー付近でAlt+右クリックし、ドラッグする。

- 移動: Alt+左クリック&ドラッグ。
- スティック: すべてのデスクトップにウィンドウを表示するには、左上の小さなアイコンを使用します。
- オプション: ウィンドウ上部のツールバーを右クリック。特別な価値は、サイズと場所を記憶するように選択できることです (`~/.fluxbox/apps` に記録されています)。
- タブ: Ctrlキーを押しながらウィンドウのタイトルバーをクリックしたまま、別のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある1つのウィンドウにまとめることができます。再び分離させるには、手順を逆にします。
- ウィンドウをタイトルバー（「シェード」）まで縮小する: タイトルバーをダブルクリックする。

メニュー>設定>設定>ウインドウで、ウインドウの見た目や動作に関するFluxboxオリジナルの詳細な各種設定にアクセスできます。

3.9 ターミナル

- Ctrl+F4 = ドロップダウンXfce4ターミナル

- メニュー > 端末: 優先端末

3.10 画面オプション

- 明るさ設定マネージャー > ツール > 明るさのシストレイ
- キャプチャ: mxfb-quickshot。デフォルトでは、"Print Screen" (別名Print、PrtScなど)ボタンまたはAlt+qキーでトリガーされます。
- タイリングAlt+<数字1-9>、詳細は**キー**ファイルの下部に記載されています。
- 解像度: メニュー > 設定 > ディスプレイ (arandr)。Help "ファイルを読んで、変更した内容を保存する方法を確認してください。

4. 伝統的なフラックスボックス

このセクションでは、伝統的なFluxboxのセットアップを行いたいユーザーについて説明します。

何から始めたらいいですか？

従来のFluxboxのセットアップを復元するのはとても簡単です。デスクトップ上の任意の場所を右クリックすると、デスクトップメニュー（ルートメニュー）が表示され、使用することができます。以下のような変更が可能です：

- 設定＞ツールバー＞Fluxbox：従来の（tint2）パネルが消え、画面上部にFluxboxツールバーが表示されます。
- アウトオブサイト＞キルドック
- 視界の外＞コンキーを殺す
- 視界外＞iDeskとアイコンの切り替え*を切り替える

*永続的な変更を行うには、**ルートメニュー**設定＞設定＞スタートアップで**開く**ファイルの該当行をコメントアウト（#）して、以下のようにします：

```
#$HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk  
#$HOME/.fluxbox/scripts/conkystart  
#idesktoggledes on 1>/dev/null 2>&1 &.
```

変更されたデスクトップを理解し、使用方法を説明しよう：



上のツールバーは何ですか？

このfluxboxツールバーは、ワークスペース、開いているアプリケーション、システムトレイ、および現在時刻に関する情報をMXユーザーに提供します。その幅と配置は、ツールバーの時計またはページャーを中クリック（=スクロールホイール）することで利用できるオプションで設定できます。何らかの理由でこれが機能しない場合は、メニュー＞設定＞ウィンドウ、スリット、ツールバー＞ツールバーをクリックしてください。高さは ~/.fluxbox/init/ で設定します：

```
session.screen0.toolbar.height: 0
```


ゼロがある場合は、選択されたスタイルが高さを設定することを意味します。そうでない場合は、20から25の値が快適であることが多い。

ツールバーには、以下のデフォルトコンポーネントが含まれています（左から右）：

ページャー

- ワークスペースを上（右クリック）または下（左クリック）に切り替えられるようにする。Control + F1/F2/など、Ctrl-Alt + ←/→、またはデスクトップの空の部分にスクロールホイールを使用するのと同じ。番号と名前は `~/.fluxbox/init` で設定します。
"W" は "Workspace" の略。デフォルトでは使用されていません。

アイコンバー

- ここで開いているアプリはアイコンが表示され、関連するアイコン（ツールバー自体を含む）>アイコンバーモードを右クリックすることで様々なウィンドウオプションが利用できます。MX-Fluxboxのデフォルトは「すべてのウィンドウ」です。

システムトレイ

- Xfceの通知領域に相当。デフォルトのコンポーネントは `~/fluxbox/init` に設定されます。systemtray オプションがあるアプリは、起動時にそこに表示されます。

クロック

- クロックを12時間または24時間に調整するには、右クリックして12時間または24時間のどちらか表示されている方をクリックします。それでもうまくいかない場合は、"Edit clock format "を選択してください。
- 24時間: `%H:%M`、12時間: `%I:%M`。
- デフォルトは12時間で、日付は日/短月形式: `%I:%M %b %d`です。他の多くの時間/日付オプションは[Wiki](#)で見つけることができます。

デフォルトでこのように設定されている `~/fluxbox/init/` のツールバーコンポーネントを移動または削除することができます:

ワークスペース名、アイコンバー、システムトレイ、時計

スリットについて読んだことがあります。

スリットはもともと[ドックアプリ](#)のコンテナとして考案されたが、MXFBでは主にドックに使用される。デスクトップ上のさまざまな場所に配置できる:

- 左上、中央上、右上
- 左中央、右中央
- 左下、中央下、右下

dockappsのデフォルトのリポジトリは、ターミナルコマンドで検索できます:

```
apt-cache search dockapp
```

レポにある多くのものはうまく動かないかもしれないが、試してみる価値はある。

MX-Fluxboxにデフォルトでインストールされているモニタースタック[gkrellm](#)は、apt-cacheで検索しても見つからない、とても興味深く便利なdockappです。メニュー > システム > モニターをクリックすると利用でき、多くの設定オプション（一番上のラベルまたはチャートの1つを右クリック）、[多くのスキン](#)、[多くのプラグイン](#)があります。いくつか

のスキンはデフォルトでインストールされており、Shift-PageUpをクリックすることで確認、選択することができます。

5. FAQ-ファインダー

どうすれば...	デスクトップより	アプリ付き
ルートメニューを開く	デスクトップを右クリック	
オープンプログラムX	ルートメニュー > すべてのアプリ	
	クリックMXロゴ (Appfinder)	
	Windows/アップルキー (rofi)を押す	
新しいアプリをインストールする	ソフトウェア・アイコン	MXパッケージインストーラ
デスクトップのアイコンのオン/オフを切り替える	ルートメニュー > Out of sight > iDeskの切り替え	
別のコンキーに変更	コンキー・マネージャー	
	ルートメニュー > 外観 > コンキー	
コンキーのオン／オフ切り替え	ルートメニュー > Out of sight > トグル・コンキー	
別のパネルを選択する		設定マネージャー > tint2manager
パネルの編集		色合い2設定
ドック内のアイテムを編集する	ルートメニュー > 外観 > ドックメーカー	

	Rofiドックの場合 > Rofi マネージャー	
ウィンドウのタイトルバーとFBメニューの外観を変更する	ルートメニュー > 外観 > スタイル	
外観の変更	ルートメニュー > 外観	設定マネージャー > ルック & フィールのカスタマイズ
ウィンドウの内容、アイコン、フォント	> テーマ	
	MX-ツィーク	
壁紙の変更	ルートメニュー > 外観 > 壁紙	窒素
編集キーのショートカット	ルートメニュー > 設定 > 設定 > キー	
ルートメニューの編集	ルートメニュー > 設定 > 構成 > メニュー	
デスクトップアイテムの削除	ルートメニュー > Out of sight >	
ターミナルを開く	ルートメニュー > ターミ ナル	Xfce4-terminalまたはその他の好みのターミナル

6. リンク

manファイル（ターミナルまたは<https://linux.die.net/man/>）：

- フラックスボックス
- フラックスボックス・キー
- フランフラン
- フラックススタイル
- フラックスボックス・リモート

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/pdf/fluxbook.pdf>

基本的なハンドブックで、やや古いがまだ役に立つ

。

<https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=77729> 例

を交えた一般的な説明が良い。

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox> い

くつかのコマンドは Arch 固有のものです

<https://wiki.ubuntu.com/HowToFluxboxStyles>

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812> フラ

ックスボックス・キーに関する優れたスレッド

<https://wiki.debian.org/FluxBox>

<https://wiki.debian.org/FluxboxIcon>

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/chap-tabs.html> ウィン

ドウのタブ化。

<https://github.com/jerry3904/mx-fluxbox>

MX-Fluxbox の GitHub リポジトリ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>

MX-Fluxbox Wikiエントリー

<https://bit.ly/2Sm1PJl>

YouTube: MX-フラ

ックスボックス

v. 20230709